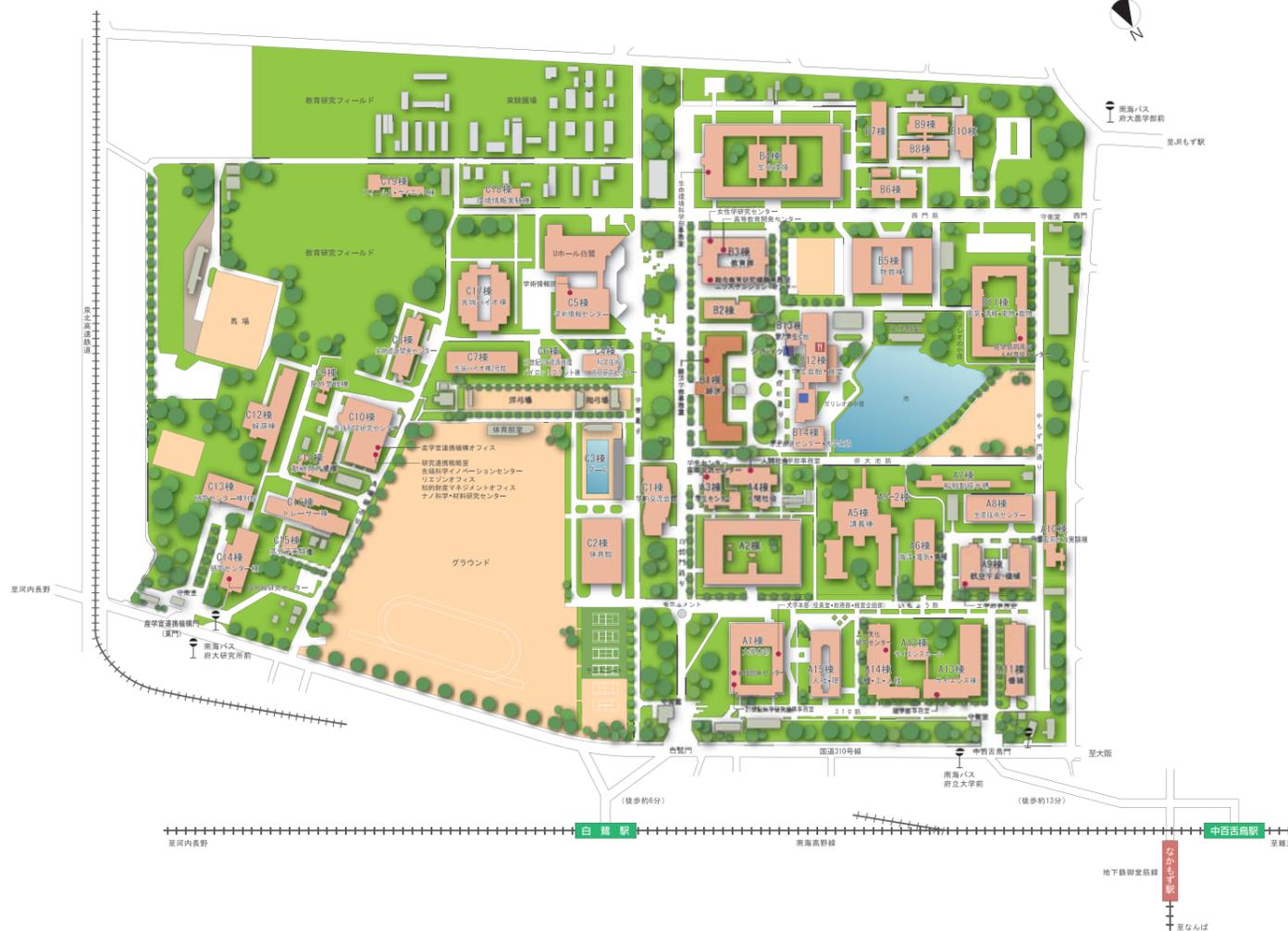


2011



飛躍への途

●中百舌島キャンパス



- 南海高野線白鷺駅下車南西へ約500m、徒歩約6分。 ●南海高野線中百舌島駅下車南東へ約1000m、徒歩約13分。
- 地下鉄御堂筋線なかもず駅(5番出口)から南東へ約1000m、徒歩約13分。
- 南海本線堺駅、JR阪和線三国ヶ丘駅から南海バス(北野田駅前行 31、32系統 約19分)に乗車し、府立大学前下車。

大阪府立大学経済学部・大学院経済学研究科
〒599-8531 堺市中区学園町1番1号

問い合わせ先 大阪府立大学学生センター入試課
TEL 072-252-1161(代) 内線2609
TEL 072-254-9601(直通)
FAX 072-254-9902

<http://www.eco.osakafu-u.ac.jp>

公立大学法人
大阪府立大学経済学部
Osaka Prefecture University
School of Economics

経済・経営・法律の知識を学んで 自分と社会の未来への飛躍を



経済学部長
山本 浩二

経済学部は、学部創設以来60年近くになつて、地域社会や産業社会に貢献する人材を多く輩出し続けています。その間、わが国の社会は発展してきた一方で、さまざまな問題も生じさせてきました。現代社会の経済的・経営的諸問題を解決するためには、理論的・実証的に分析する能力を有し、国際感覚豊かで情報処理能力に富み、実践的・創造的能力を備えた人材が一層求められています。

経済学科と経営学科のどちらを希望するか迷っている、また違いがよく分からないという受験生の皆さんも多いかもしれません。しかし、本学では、どちらの学科でも、経済・経営・法律の分野の講義を同時に学ぶことができます。

また3・4年次の専門ゼミで勉強するのに先だって1年次から基礎ゼミ・外書ゼミなど少人数のゼミナールを開設して、教員とより密接に関わる授業を取り入れています。

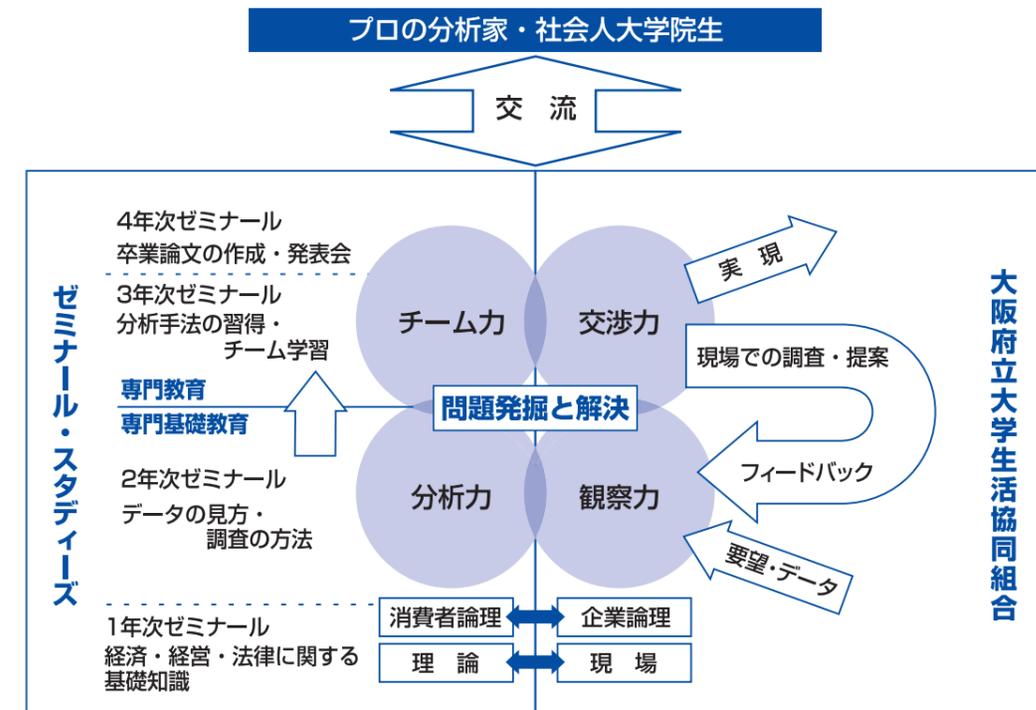
人々がより豊かな暮らしができるように、企業や個人の行動と市場メカニズムのあるべき姿を追求していくことが経済学を学ぶ意義です。また、企業経営に関する諸問題の解決のための経営に関する深い知識とそれに関連した法律の知識によってマネジメント能力をつけることが今後ますます必要となってきます。

知識は、単独の専門知識だけでなく、いろいろな勉強をして総合的な知識をつけることが重要です。そのためにも貪欲になって下さい。それが皆さんを人として大きくします。自分と社会の未来に向かって飛躍することを期待しています。



本学部経営学科の6年に及ぶ活動を原型とする「販売現場に密着した問題発掘型スタディーズ」という取組みは、平成20年度質の高い大学教育推進プログラムに申請し、文部科学省より教育の質の向上に繋がる教育取組の中で特に優れたものとして、選定されました。

本取組みの教育目的は、教養科目や専門基礎科目を習得した上で、実際のビジネスを体験し、自らで問題を発掘し、データを分析し、ビジネスソリューションを提案できる能力を持った人材を育成することです。



販売現場に密着した問題発掘型の学習を行うためには、販売現場となっている企業と提携し、有用なPOSデータとそのデータの周辺環境情報を入手することが必要です。そこで本取組みでは、これまで7年間大阪府立大学生生活協同組合(以下、府大生協)の顧客購買データ(POSデータ)を通じて共同研究を行っており、これをさらに強化して専門基礎教育から専門教育へのブリッジとなるような販売現場に密着した問題発掘型教育プログラムを推進します。

そのためには、図の中央にある①チーム力②交渉力③分析力④観察力を早期に習得する必要があります。これらの能力を養うために、まず2年次ゼミナールにおいて販売現場に出てコミュニケーションと観察を行いながらチーム作業を体験することを学びます。この活動から、講義形式だけでは得られなかった販売現場に密着した問題の発見が可能になります。次に、大量のPOSデータを使用した問題解決を行うために、文系の学生でもすぐれた結果を導くことができる高度マイニングシステムを活用した教育が行われます。

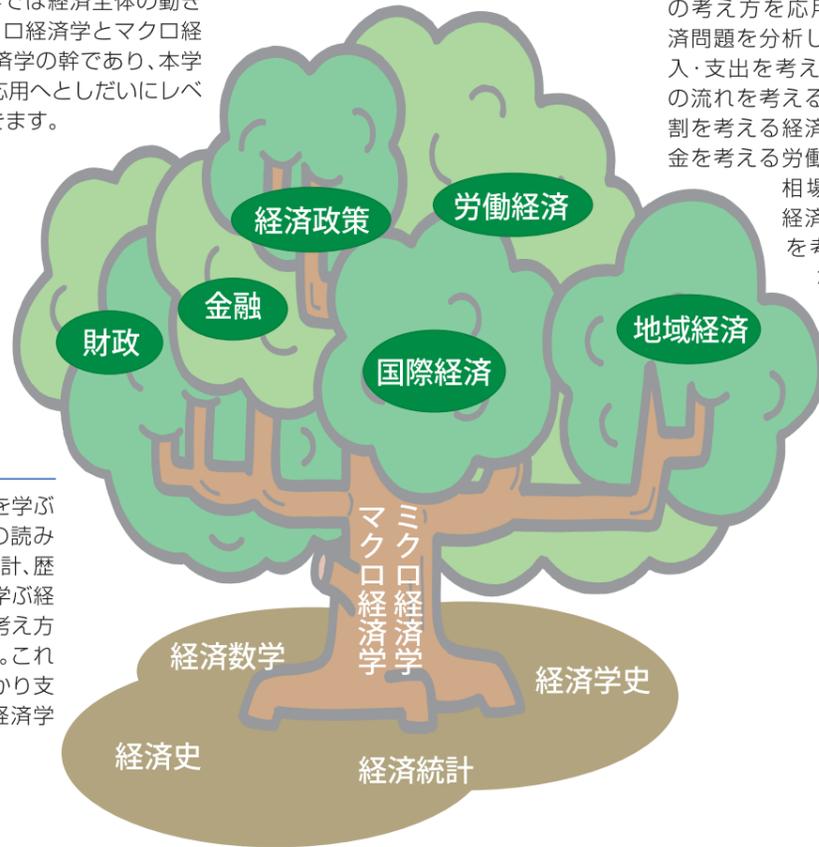
この2年次の体験型学習を基礎とし、さらに3年次ゼミナールや専門科目を通じて、専門教育のレベルアップに繋がります。このようなプロセスの中で、学生はさまざまなビジネスソリューションを試行し、教員のみならず、プロの分析家や社会人大学院生と交流することにより、新たな視座から成果を発表し、実践的なビジネス提案を行う能力を習得します。

これまで継続的に行ってきた生協データを分析し、発表を行い、優劣を競う解析コンペティションを利用したカリキュラムを経験した学生の能力は、対外的なデータマイニングのコンペティションでも十分発揮されています。全国規模のデータ解析コンペティションでも優秀な成績を収めた学生を輩出しており、当該分野での高いレベルの教育が実施されることを示しているといえます。

経済学では、企業や消費者の行動と市場メカニズムの役割を学びます。そして人々がより豊かに暮らしていくためには、いまの経済社会をどのように変えていかなければならないかを考えます。

経済学の幹

ミクロ経済学では企業や消費者の行動を、マクロ経済学では経済全体の動きを学びます。ミクロ経済学とマクロ経済学はまさに経済学の幹であり、本学部では入門から応用へと段階的にレベルアップしていきます。



経済学の根

経済学に不可欠な数学を学ぶ経済数学、経済データの読み方・扱い方を学ぶ経済統計、歴史から経済のしくみを学ぶ経済史、そして、経済学の考え方の歴史を学ぶ経済学史。これらは経済学全体をしっかり支え発展させる、いわば経済学の根です。

経済学の枝

ミクロ経済学とマクロ経済学の考え方を応用して様々な経済問題を分析します。政府の収入・支出を考える財政、おカネの流れを考える金融、政府の役割を考える経済政策、仕事と賃金を考える労働経済、貿易や円相場を考える国際経済、地域の活性化を考える地域経済など、こうした応用分野は、いわば経済学の枝です。

企業、組織、市場など現代産業社会を、経営学分野・経営科学分野・会計学分野の三つの異なる視点から学習することができます。



経営学分野	特徴	経営学分野では、私たちの生活に密接に関連している企業がどのように運営されているかを、お金の動きや人間の心理、組織の仕組みや企業の戦略、競争や国際化といったさまざまな側面から考えます。
	関連する資格や職業	中小企業診断士：中小企業の経営課題に対応するための診断・助言を行う専門家で、経営コンサルタントと呼ばれます。 経営学検定：経営に関する基礎知識から表現力やコミュニケーション力までを問う、実践的な資格です。
経営科学分野	特徴	経営科学分野は、企業内のさまざまな電子情報、POSデータなどの市場情報を、計算機や数学を使って科学的に分析し、意思決定を合理的に行う方法を考える分野です。
	関連する資格や職業	初級システムアドミニストレータ試験などの情報処理系の資格。経営分析スタッフ、マーケティング・リサーチャー、システム・エンジニア、システム・アナリスト、情報システムコンサルタント、経営コンサルタントなど。
会計学分野	特徴	会計学分野は、会社や行政機関など様々な組織の経営において、株主や経営者、管理者、従業員、住民などが必要とする情報を、主に貨幣的数量(お金)の観点から考えていこうとするものです。
	関連する資格や職業	公認会計士：上場会社の出す財務情報に信頼性を与える資格です。 税理士：企業や個人の経理・税金の実務を代行する資格です。 簿記検定：経理の基礎知識取得として履歴書に書ける資格です。

講義紹介 経営学担当 北居 明 教授

企業の経営は、われわれの生活に密接に関連しています。われわれの多くは企業で働くことで賃金を得、企業が生産した製品やサービスを消費することで生活しています。しかし、われわれの多くは企業がどのように経営されているのか、あまり知りません。また、どの企業も上手に経営されているかといえば、そうでもないことは周知の事実です。顧客に受け入れられる製品を作り続け、成長を遂げる企業もあれば、一方で時代の波に取り残されて倒産する企業もあります。かつての大企業が数年のうちに衰退したり、少し前まで誰も知らなかったような企業が急激に大きくなったりするのも日常茶飯事になってきました。その意味で、経営学はダイナミックな動きの中にある「生きた」学問であると思います。この講義では、企業組織の編成やリーダーのあり方、企業間の連携や従業員のやる気の問題など、上に述べたダイナミックな企業経営を考える上での基本的な事柄を学びます。



講義紹介 社会保障政策担当 若林 緑 准教授

この講義では、公的年金をはじめとする社会保障制度を経済学的な観点から学習します。皆さんの中には、自分たちが退職したときに年金をもらうことができるのだろうか、と不安に思っている人も多いのではないのでしょうか。また、私たちが支払っている公的年金の保険料や給付はどのように決定されているのだろうか？今の制度のままではダメだとしても、では、どうしたらよいのだろうか？など考えることは尽きません。講義では、日本の社会保障制度がどうなっているのかを羅列するのではなく、制度のメリットやデメリットを「経済学」を用いて説明します。「経済学」を用いることにより、今話題になっている論点が明確になるはずですよ。

この講義を受講することで、皆さんが社会保障制度に対して自分なりの意見を持てるようになることを期待しています。



国家の基本的枠組みを定める憲法をはじめ、市民の日常生活や企業の活動などに関する法律を学ぶことができます。



講義紹介

租税法担当 酒井 貴子 准教授

皆さんは、もちろん、消費税や所得税などいろいろな税金があることをご存知でしょう。実際、ゆりかごから墓場まで、人々の生活のどのような場面でも関わってくるのが、税金です。そういった税金のことを定めた法律などのルールを租税法といいます。人々の生活や企業活動に対して、租税法が与える影響は、法律学で伝統的に重視されてきた基本六法(憲法、民法、刑法などといった6つの分野)よりも大きいといえるでしょう。租税法を知らずして生活することは、ある意味危険です。

わが経済学部では、租税法について、基礎理論から、所得税法や法人税法のみならず、国際課税や地方税法についても無理なく学べるようにカリキュラムが組まれています。また、学部全体では、法律学的な視点からだけでなく、経済学的、会計学的なアプローチから税金を学べる場を提供できますので、わが学部で税金について学ぼうと興味をもたれていることは、とても意義のあることだと思います。将来において、公認会計士や税理士などの会計実務家になることを目指す学生の皆さんにとっても、有意義な授業となるように工夫していきたいと考えています。



本学部では、きめ細やかな教育を行うために、すべての学年で少人数のゼミナールを開講しています。ゼミでは、発表や討論を通して学生が主体的に授業に参加することができます。特に3・4年生を対象とする専門ゼミは、1学年10人までの学生数で運営され、必修となっている卒業論文についても教員がていねいな指導を行います。また、教員はオフィスアワーをもうけているので、授業時間以外でも気軽に質問することができます。

ゼミ紹介

佐橋 義直教授 ゼミ

今日の世の中は情報で溢れかえっていますが、情報が多いからこそますます一つ一つの情報を批判的にとらえることが重要になってきているように思われます。たとえば「日雇い派遣労働者の雇用環境は劣悪だから、日雇い派遣を禁止するべきだ」と言われて、「なるほど、いいアイデアだ」と何の疑いももたずにその政策を受け入れてしまうと、労働需要そのものを抑え込むことになり、かえって労働者のおかれた状況を悪化させてしまうことにもなりかねません。このゼミでは、与えられた情報をまずは疑ってみる、冷静に吟味してみる、そんな姿勢を身につけてもらうことを目指しています。

4年生 吉村 俊樹

佐橋ゼミでは経済学を用いて自分の興味ある分野を研究していきます。また研究報告やその報告について全員で討論していくことを通して現実に起きている経済問題にどのように応用できるかを学んでいくゼミです。これだけを聞くと「専門的な知識が必要なのは」「堅そうだな」と思うかもしれませんが、でもそんな心配はいりません。普段何気なく新聞やニュースで見る社会経済問題に対してふと感じる小さな疑問などはありませんか。その疑問を放ったままにはしていませんか。まずはその疑問から始めるだけでいいのです。このゼミで疑問から始まる経済学の深み、おもしろさを体感してみましょう。



辻 峰男教授 ゼミ

「一流」の会社って何でしょう。40年間、どこでどんな仕事をしたらよいのでしょうか。

私には、答えは分かりません。しかし、会社によっては財務諸表という書類を作成公表しています。いわば成績表です。このゼミでは、財務会計の名のもと、財務諸表の作り方と読み方を勉強しています。受講生は、勉強を通じて、自分の答えを見つけることになります。

平成21年度の卒業論文のテーマには、特別目的会社等将来の職業(公認会計士志望)と直結するものもありましたが、ある公務員志望者がニンテンドーを研究し、優れた論文にまとめあげたことが特に印象的でした。

4年生 東原 直輝

辻ゼミでは財務会計の勉強をし、財務諸表(企業の経営成績を表す表)を読むことが出来るようになります。ゼミではゼミ生が自主的にテーマを見つけ、それを調べて発表し、他のゼミ生や先生と良かった所や悪かった所を言い合いプレゼンテーション能力も身につけることができます。

ゼミの雰囲気もとてもよく、辻先生はゼミ生の進路の相談などにも親身に乘ってくれます。



3. 多様な入試で多様な学生を

本学部は、多様な個性や能力を持った学生の入学を歓迎します。そのために本学部では、様々な入学者選抜方法を採用しています。一般選抜の前期日程ではバランスのとれた総合的な能力を評価します。また後期日程では、面接を実施するほか、外国語が得意な人と数学が得意な人に分けて選抜します。さらに、推薦入学や帰国子女、外国人を対象とする特別選抜も実施しています。

受験生へのメッセージ 松川 滋 教授

以前アメリカから来た留学生が、日本人学生が、大学で実用的な知識をひとつでも多く身につけて卒業したいと言うのを聞いてびっくりしたと言っていました。具体的な知識は役に立つようでも、激変する現代社会では、すぐに時代遅れになります。生涯役立つ知識には、それなりの抽象性があるはず。経済学は抽象的ですが、それゆえの有用性があり、生涯即戦力であり続けるのに最適な学問です。私たちは企業が自らお金をかけて育成する必要がないほど入社時に十分な具体的な知識を持ち、したがって企業にすれば、いつ解雇してもかけたお金が無駄にならない「即戦力」を育成するものではありません。



受験生へのメッセージ 北居 明 教授

みなさん、こんにちは。経営学は、具体的な企業名や商品名などが講義中によく出てくるので、とっつきやすい学問だと感じてもらえると思います。しかし、けっしてお金儲けのための学問ではありません。経営学は、企業組織を対象としたよりよい経営のあり方を探る学問です。よい経営を行った企業は、結果的にお金を儲けるかもしれませんが、その逆ではないことは、昨今の企業不祥事のニュースでも明らかです。経営組織や戦略、マーケティング、会計などの勉強を通じて、よりよい経営の論理、方法について一緒に考えていけたら・・・と考えています。

受験生へのメッセージ 酒井 貴子 准教授

社会に出たことのない学生が、大学で法律学を学ぶとき、抽象的で面白くないという感想ができるかもしれません。そんなときは、まず、当事者感を常に持つことを意識してみてください。「私がもし裁判官だったなら」、「私がもし被害者の立場なら」、「この判決だと今後の社会への影響はどうか」とイメージをどんどん膨らましていくのです。そんな体験は、実際の事件・判決やその議論を理解する助けとなるだけでなく、将来、職業人として必要とされる思考力や判断力を鍛えることで。私たちは、経済学を学びながら法律学も勉強したいという学生の皆さんの期待に応えていきたいと考えています。



学生の学びをサポート

経済学部図書室

経済学部図書室は、B3棟の6階にあり、経済学・経営学・法律学分野の資料を中心に、図書約20万冊・国内雑誌約900タイトル・外国雑誌約600タイトルを所蔵しています。大学の中央図書館である学術情報センター図書館に対して、専門図書館としての役割を担っています。

開架スペースには教員が学生向けに選んだ図書をはじめ、新刊から古典的名著まで多くの図書を配置しており、講義の予習・復習やレポート作成にとっても便利です。また「日経文庫」「ちくま新書」「有斐閣アルマ」等の専門分野の入門書や、調査に便利な「年鑑・白書コーナー」をはじめ、基本的な参考図書も揃えており、自由に手にとってご覧いただくことができます。

毎年、経済学部の新生を対象に各教員のお勧め図書を紹介する冊子『経済学部ようこそ』を発行し、そこで取り上げられた図書を開架図書「ようこそコーナー」に集めています。また、視聴覚資料を利用する「AVコーナー」から自習用キャレル（一人掛けの閲覧机）にかけて大きく開いた窓からは、生駒・信貴山系を望むことができ、学習や研究の疲れを癒してくれることでしょう。

図書室には学内・学外の所蔵資料を検索できる蔵書検索用の端末を備えており、お探しの図書や雑誌の所在を調べることができます。図書・雑誌などの資料にかぎらず様々な情報をお探しの時や、資料の探し方がわからない時、必要な資料が学内にない時などには、お気軽に図書室の司書にご相談ください。



経済学部図書室 開架閲覧室



教育・研究助成室

教育・研究助成室では、学生の学習や研究をサポートしています。

経済学部では、講義やゼミナールの中でしばしば研究発表やレポート提出が課されます（その集大成として卒業論文があります）。しかし、自分では必要な文献や資料を見つけられないこともあります。あるいは、最初は、発表の仕方やレポートの書き方がわからないかもしれません。そんなとき、教育・研究助成室を訪ねてください。そこには、文献検索や資料収集に精通した職員がいます。また、勉学に関わる学生の相談にいつでも対応できるよう、本学部の大学院生が交替で教育・研究助成室にアシスタントとして勤務しています。

情報技術を学ぶ

経済学部では、社会で求められる人材の教育の一環として、情報技術(IT)の教育に特に力を注いでいます。

情報処理環境

3大学統合により新生府立大学が発足するにあわせ、全学情報システムが新たにスタートしました。キャンパス間のネットワークが拡充し、教室の情報化もすすんでいます。

経済学部生向けの情報処理教育は主に学術情報センターと経済学部の実習室で行われます。学術情報センターには実習室とオープンスペースがあり、合わせて220台ほどのパソコンが設置されています。また、経済学部の2つの実習室にも、合わせて50台あまりのパソコンが設置されています。情報技術の授業やパソコンを用いる専門ゼミの授業はこれらの実習室で行われます。パソコンにはいづれもワープロ、表計算ソフト、各種統計解析ソフト等がインストールされています。また、学術情報センターのパソコンはインターネットやプリンターにも接続されていて、すべての学生がメールアドレスを持ち、専門分野の学習や研究での情報受発信を行うことができます。学生は、開館時間内であればいつでもオープンスペースを利用することができ、実習室も、授業で使われていない時間であれば自由に利用することができます。

また、情報処理教育だけでなく、修得単位数などの教務関連の情報も学生情報システムから簡単に得ることができ、府大情報システムはキャンパスライフを支える重要な基盤のひとつです。



ユニークな講義 情報技術論

経済学部では、情報技術(2年生対象)というコンピュータを用いた授業を開講しています。この授業の主眼は、コンピュータを使う実践的な知識を身につけることです。まず、効率的に仕事をするのに役立つ表計算ソフトのテクニックについて学習します。体系的に学習することで、高度なこともできるようになります。次に、データを分析する方法を学習します。これで、卒論や仕事においてデータを用いて客観的な判断をすることができるようになります。このように書くと、何かとても難しそうだと思うかもしれませんが、豊富な演習問題を通して、繰り返し学習することで、少し高度なことも知らず知らずのうちに、身につけていきます。

データ解析コンペ

情報の電子化は目を見張るものがあります。それら情報量はあまりに多すぎて常人の手作業では追いつかないのが現状です。学部の専門講義等では、情報処理方法に関する理論的部分が主になりがちであり、多量の情報操作することはほとんどありません。まして本物の顧客購買データ(POSデータ)を利用できる機会は企業に就職しない限り、得られないと考えたほうがよいでしょう。

経済学部ではコンペの参加表明をしたゼミナール(チーム)に対して、大阪府立大学生協(書籍を含む学生必需品販売と食堂を経営)より提供いただいたPOSデータを共通の情報として貸与します。その後、最終選考会で研究成果を報告し、優秀チームを表彰します。これがデータ解析コンペです。この活動の主眼点は、チームとしての活動、習得技術の実践と競争です。

ビジネスの今を学ぶ

やがて社会に出て産業界で活躍する皆さんに、ビジネスマインドを身につけていただきたいと考えています。そのために、社会の第一線で活躍している方々を多数講師にお招きし、ビジネスの今を語っていただきます。また、企業でのインターンシップに参加する機会もあります。

関西経済論

関西経済の活性化のためにこれまで何がなされてきたのか、また、今後何がなされようとしているのか、このことは大阪府立大学経済学部をめざす受験生のみなさんも関心をもっているのではないのでしょうか。経済界・マスコミ・行政等各分野で活躍されている方々を講師に迎え、平成7年度より「関西経済論」を全学学生を対象に毎年開講しています。この講義を受講することで、経験豊かな講師の方々から関西経済の現状と将来を学ぶことができます。なお、この講義は現在では授業公開講座となっており、大阪府民の方も学生と一緒に、「関西経済論」を受講することができます。平成17年度から総合教育研究機構が開講しています。



ベンチャービジネス論

グローバル化の進展、消費者ニーズの多様化、そして、情報技術(IT)の急速な普及など、経営環境の大きな変化に直面して、大企業もビジネスモデルの変革を迫られています。それに成功した一部の企業がある一方で、わが国の経済を支える大多数の中小企業の経営環境は依然として厳しく、そのような状況のなかで、わが国や地域の経済を活性化する方法として、ベンチャービジネスの役割が注目されています。

本学部では、時代の要請に応えるために、平成12年度から全学学生を対象に「ベンチャービジネス論」を開講しています。この講義を受講することで、ベンチャービジネスの経営戦略、ビジネスプラン、起業の成功要因などを総合的に学ぶことができます。また、講義ではベンチャービジネスの実践についての知識を得ることができます。

インターンシップレポート

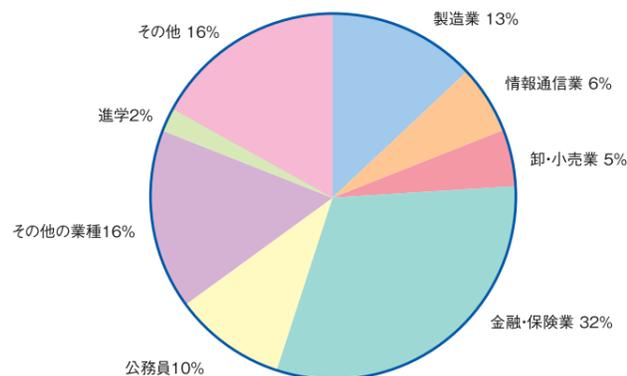
経済学部経済学科 4年生 青池文

私がインターンシップに参加したのは3年生の夏休みです。これでもけて早いわけではありませんでした。それまで私は就職活動というものを意識していなかったため、業界や会社を広く回るために1 dayタイプのものを選びました。業界は銀行、保険、メーカー、商社、IT関連、人材サービスに複数社行きました。1 dayプログラムでは業界の一般的な業務を「経験する」とまでは言えませんが、「知る」という面では十分だと思います。たったの数時間ではありましたが、だからこそグループワークにおいて短時間で一定の結果を出すことが求められ、またそのような場面で連続する事態に直面して、社会が要求するスピードを感じました。社員の方のお話によって、社会人となること、働くことへの意識が大変高まりました。また具体的には銀行と商社で行ったワークが印象に残っています。仮想為替市場の動向によって運用や投資を考えるゲームではありましたが、それでも社会は有機的に繋がっているということを再認識し、かつ企業や業界の魅力を感じることができました。

卒業生の就職先

平成20年度卒業生の就職先を産業別に見ると、金融・保険業が最も多く、次いで、製造業、公務員、情報通信業と続きます。特に、公務員になる人の割合は前年度、前々年度に較べて増えています。また大学院に進学する人もいます。少ない卒業生ですが、卒業後の進路は多様です。就職先が「その他」になっている人の大半は、卒業後、公認会計士や税理士などの資格試験を目指して勉強を続けたり、公務員試験等に挑戦したりする人たちです。

平成20年度卒業生の産業別就職先構成 (%)



業種別おもな就職先企業

製造業

サントリー、日本ハム、ミズノ、三景、ワコール、トッパンフォームズ、大日本印刷、塩野義製薬、大鵬薬品工業、ニチアス、ムネカタ、日本スベリア社、アトラス、住友電気工業、みずび精工、三菱電機トレーディング、エア・ウォーター・プラントエンジニアリング、クボタ、シャープ、タカラベルモント、大和冷機工業、ダイキン空調大阪、日本航空電子工業、TDK、日本電気、図研、川崎重工業、ボルグワーナー・モールステック・ジャパン

卸・小売業

長瀬産業、阪和興業、トーハン、三井物産、JFE商事、近畿ココロ、上新電機、楽天、アークランドサカモト、パル、高島屋、メガスポーツ、アルペン、近鉄百貨店

金融・保険業

日本銀行、福井銀行、但馬銀行、三菱東京UFJ銀行、大阪東信用金庫、池田銀行、京都銀行、岡三証券、南都銀行、関西アーバン銀行、JAバンク大阪、四国銀行、三菱UFJ信託銀行、住友信託銀行、みなと銀行、大阪市信用金庫、三井住友銀行、りそな銀行、丸三証券、新光証券、泉州銀行、名古屋銀行、商工組合中央金庫、福岡銀行、滋賀銀行、中央三井信託銀行、紀陽銀行、鹿児島銀行、岡籾商事、アプラス、鳥取信用金庫、ニッセイ同和損害保険、日本生命保険、明治安田生命、大同生命保険

情報通信・サービス

日立情報システムズ、東洋ビジネスエンジニアリング、ジュビターテレコム、オービックビジネスコンサルタント、鈴与シンワート、システムプロ、サイバーエージェント、アイレップ、カテナ、オービック、シーイーシー、西日本電信電話、キャノンソフト情報システム、シー・エス・イー、大庄、サイゼリヤ、シンワオックス、JTB大阪、阪急交通社、マルハン、USEN、阪急阪神ビジネスアソシエイト、ロックベイント、パソナグループ、エン・ジャパン、リクルートHRマーケティング、住信ビジネスサービス

その他の業種

JAみのり、住友林業、奥村組、大成建設、きんでん、キャンマーケティングジャパン、関西電力、中部電力、関電プラント、アートコーポレーション、ヤマト運輸、郵便事業、郵船航空サービス、近畿日本鉄道、アスター、ユビキタスエナジー、新日本有限責任監査法人、あずさ監査法人、オーグス総研、ムサシノ広告社、インタージ、クリーク・アンド・リバー社、奈良教育大学、和歌山県立医科大学、兵庫県教育委員会、国立病院機構

公務員

大阪国税局、近畿公安調査局、近畿経済産業局、京都地方検察庁、近畿財務局、名古屋国税局、厚生労働省大阪労働局、関東信越国税局、宇陀市、岡山市、和歌山県、京都市、三重県、札幌市、堺市、愛知県、寝屋川市

大学院進学

大阪府立大学、大阪大学、関西学院大学

大学院への道

大阪府立大学経済学部は大学院経済学研究科を併設しています。学部を卒業した後、大学院に進んでさらに勉強を続けることができます。大学院は前期課程と後期課程からなり、2年間の前期課程を修了した人には修士号が授与されます。そして、前期課程を修了した人のうち幾人かは後期課程に進み、博士号をめざしてさらに勉強を続けます。

本学部にかぎらず、従来、経済学部を卒業して大学院に進学する人はごく少数であり、それも大学教員など研究者をめざす人がほとんどでした。しかし、最近では、研究者をめざす人ばかりでなく、前期課程を修了して公務員になったり、民間企業に就職したりする人も少しずつ増えてきました。今は、研究者を養成するだけでなく、高度な専門知識を身につけた職業人を育成することが大学院にも求められています。大学院なんばサテライト教室では、社会人のための大学院教育を行っています。



経済学部図書室洋雑誌コーナー



大阪府立大学経済学会定期出版物

なんばサテライト教室

中百舌鳥キャンパスでは、平成6年から、生涯教育への社会の要請に応えるため、社会人も大学院で勉強できるようになりました。そして、平成13年からは、より高度な専門知識を身につけた職業人を育成するために大阪の都心、難波にサテライト教室を設け、社会人が働きながら大学院に学び、キャリアアップできる体制を整えました。学部と同じく、経済、経営、法律の3分野を学ぶことができるユニークな社会人大学院として注目を集めています。なんばパークスのパークスタワー7階に教室があり、交通の便のよいサテライト大学院として好評を得ています。

平成17年4月に新しい大阪府立大学が誕生するのに合わせて、大学院経済学研究科も変わりました。博士前期課程において、定員を増やし、従来の経済学専攻に加えて、経営学専攻(MBAコース)を立ち上げました。研究者としてだけでなく、高度な知識を身につけた専門職業人として、経営学専攻で学ぶ経営学と法律の知識は、今後ますます重要になってきています。経済学専攻では修士(経済学)、経営学専攻では修士(経営学)の学位が授与されます。





府大は譜代也

作家 藤本義一

1年に日本列島を幾度か往復する。ここ数年前から府大卒業生の諸君に思いがけない所で会うことが多くなった。東京の商社で、関西の企業で向こうから名乗り出てくれる。講演会とかセミナーの控え室に来て、府大卒ですという。すでに中堅幹部だ。網走の漁業組合の理事長になっていたり、沖縄の養護施設の指導員になっていたり、語呂遊びふうに言うなら、府大はすでに立派な譜代になったと思う。代々継いで来た系統は見事に根を下し、着実な大きな広がりをもってきた。

つい此間、パナソニックの草津工場の労組主催の講演会に行った時、府大卒が何人いるかと聞くと、たちまち七人の侍がやって来た。年代は違うが、府大出身の誇りが顔にあった。(第1期生、昭和33年卒)



国際感覚豊かな人材を…

大阪府立大学経済学部陵友会会長 井本一幸

大阪府立大学の経済学部の卒業生と在学生在で構成する「陵友会」の会員は、正会員(卒業生)及び、準会員(在生)を合わせ14,000名を超える大きな組織になってきました。このような会員数の拡大は、社会において連携しあうつながりの輪が、益々大きくなり、会員の皆様方の実社会での活躍が、さらに向上することと期待が高まるところであります。

とくに経済学部は、21世紀のグローバルな経済社会の発展に貢献しうる国際感覚豊かな人材の育成を目指すことを理念としており、日本経済を動かすすばらしい人材を、着実に育ててくれるところです。

(第6期生、昭和38年卒)

Welcome to the 陵友会

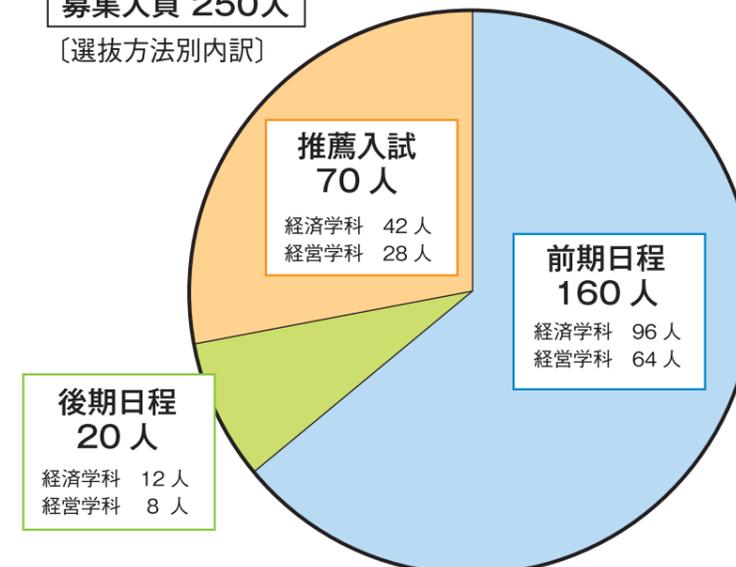
大阪府立大学経済学部陵友会は経済学部の同窓会です。陵友会では大学卒業後だけでなく、在生者の皆さんにも様々な支援を行っています。その主なものは以下のとおりです。

- 1. 卒業生名簿の提供 入学時及び就職活動時に先輩との連絡に役立つ卒業生名簿を配布。
- 2. 陵友会賞の贈呈 卒業時に成績優秀者を表彰。
- 3. 学部内行事への賛助金 学部内で開催される講演会・セミナー等への援助金を交付。
- 4. 月例懇話会 経済学部の教員と実社会で活躍中の卒業生を講師に迎え、懇話会を月1回開催。

経済学部 平成23年度入学者選抜試験について(概要)

募集人員 250人

〔選抜方法別内訳〕



その他、帰国生徒特別選抜・外国人留学生特別選抜(ともに若干名の募集)があります。



試験教科・科目等

	大学入試センター試験利用教科	個別学力検査科目等
前期日程	国語、地歴・公民、数学、外国語	数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 外国語(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング)
後期日程	外国語重視型	面接のみ
	数学重視型	
推薦入学試験	国語、地歴・公民、数学、外国語	実施しない

「大学入試センター試験」の利用科目について

- 地歴・公民** 世B、日B、地理B、現社、倫、政経 から1科目
ただし、2科目を受験した場合は得点の高いものを採用する。
- 数 学** 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目(計2科目)
ただし、工、簿・会、情報を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校を含む。)において履修した(見込み)者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。
- 外 国 語** 【前期・後期日程】英、独、仏、中、韓から1科目(英語はリスニングを課す。)
【推薦入学試験】英語(リスニングを課す。)

「個別学力検査」の科目等について

- 数 学** 数学Bは、「数列」と「ベクトル」を出題範囲とする。

詳細については、学生募集要項を参照してください。